



### 学校紹介

**昭** 和33年開校の本校は、平成2年10月、外見、機能いづれも地域のシンボリックな建物として新築されました。その際、開かれた学級学校を目指し教室間の壁がないオープンシステム教室を採用しました。

本年1月、長年の願いであった新体育館が完成し、明るく暖かい校舎・体育館でのびのびと活動を行っています。また、地域の公民館的機能を持つコミュニティセンター（以下コミセン）が校舎新築とともに併設され、運営委員会が発足しました。以後、本校と連携した活動を脈々と進めています。

本校では、この教育環境を生かし、地域と共に歩む「響き合い開く教育」を基調として、教育活動を進めています。この間、本校の教育活動が認められ、上川管内教育実践表彰を受賞しました。また、平成17年にはコミセンが同表彰を受けました。現在も、地域と共に歩みながら、日々、教育活動に励んでいます。

# 名寄市立名寄東小学校

## 響き合い開く教育

### 「学校」を開く

**本** 校の目指す地域に開かれた教育活動を進めるため、保護者・地域と一体となった教育を工夫しています。その一つに、学校周辺のラベンダーを通して活動を進める「ラベンダー活動」があります。

地域やコミセンの皆さんと一緒に草取りや、ラベンダーの開花時に「ラベンダー祭り」を開催しています。また、花穂を乾燥させ、保護者・コミセンの皆さんとラベンダーポプリを作成しています。できたポプリは、学習発表会などに感謝を込めて、地域の皆さんに届けています。

### 「教師」を開く

**教** 育内容を高め、学力の向上と定着を図るために、研修活動や指導の形を工夫しています。

研修活動では、講師をお招きして研修会や校内研修を行い、指導力の向上を図っています。

また、算数で複数教師を配置し、担任と連携した授業を行っています。そのなかで理解度に対応した授業や、チームを組んでの授業を進めています。

加えて、一人ひとりのニーズに応じた個別支援の学習も行っています。

### 「授業」を開く

**地** 域の力を生かした授業を進めるため、地域の人材を活用した授業や、地域に学ぶ教育を進めています。その中から、「合同学習」と「連携学習」を紹介します。

「合同学習」は、コミュニティカレッジ生との学習です。各学年で年間二時間程度の活動のほか、一緒に給食を食べています。人生の先輩から地域や生きる知恵を学び、人間関係などを深める機会ともなっています。

「連携学習」は、名寄農業高等学校から名寄産業高等学校に引き継がれ、本年度29年を数える歴史ある学習です。

高校生と共に学習を進め、観察・飼育・栽培活動を通して、自然や生命への畏敬の念を学び、感謝の気持ちが育っています。



▲「ラベンダー祭り」



▲校内研究授業



▲▼「連携学習」  
1年生：動物とのふれあい  
(産業高校名農キャンパス)



「Airてっし」で8月4日(木)と15日(月)の午前と午後放送します。